

1 キリスト教教理入門

1

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪

2

7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

2 第二部 啓示論

- 3章 神の普遍的啓示
- 4章 神の特別啓示
- 5章 啓示の保存: 霊感
- 6章 神の言葉の信頼性: 無誤性
- 7章 神の言葉の力: 権威

3 第6章 神のことばの信頼性: 無誤性

1. 無誤性についての多様な概念
2. 無誤性の重要性
3. 無誤性と事象
4. 無誤性を定義する
5. 付随的問題

4 1. 無誤性についての多様な概念

1. 絶対無誤説
2. 全的無誤説
3. 限定的無誤説

5 2. 無誤性の重要性

- 無誤説は聖書的な概念か?
 - もし聖書がそれを語っているとしたら
1. 神学的重要性
 2. 歴史的的重要性
 3. 認識論的重要性

6 3. 無誤性と事象

1. 聖書の実際の事象をみる
2. 問題のある箇所が存在: 年代、数、他
3. ウォーフィールドとビーグルのアプローチ
4. もしすべてのデータを手にしたとしたら

7 ☐ 4. 無誤性を定義する:

序

- 無誤性とは
- 文化とコミュニケーションの手段が、それが書かれた時代に発展したレベルの光において、そしてそれが与えられた目的という視点において正しく翻訳されるとき、聖書はそれが主張しているところのすべてにおいて完全に真実である。

8 ☐ 4. 無誤性を定義する:

1. 記録より、断言されているもの

1. 引用の資料源の正典性の保障ではない
2. 直説法以外の叙法へのどんな適用が可能なのか

9 ☐ 4. 無誤性を定義する:

2. 陳述が意味されていた範囲内で

- 引用における正確さの水準が1世紀に存在していたらどうか？

10 ☐ 4. 無誤性を定義する:

3. 書かれた目的において判断

1. 正確さは、著述の目的に依存している
2. 年収はいくらか: 友人の問いと税務署の問い
3. 数字だけではなく、歴史物語においても

11 ☐ 4. 無誤性を定義する:

4. 科学言語でなく、現象的言語

- 科学的なサークルでさえ、「日の出」と言う

12 ☐ 4. 無誤性を定義する:

5. 急いで結論を出すべきでない

1. すべてのデータを手にしたら解決されるから、残りのデータを待つのがよい
2. ユダの自殺の描写: 「プレネース」の解釈

13 ☐ 5. 付随的問題

1. 「無誤性」という用語は適切か？
2. 「誤り」ということにおいて何を意味しているのか？
3. 無誤性は「原典」のみに、派生的な意味で翻訳にも
4. 正しく解釈されるとき、教えているすべてを信頼しうる

14 ☐ IC[インフォメーション

- この講義はテープとMDで録音されており、必要な方にお分かちしています。関心のある方はご連絡ください。